

【概要】第2期福島県復興計画の進行管理について、PDCAマネジメントサイクルに基づき、令和6年度の取組を指標の達成状況の分析を通じて、効果検証（Check）を行うとともに、総合計画の施策評価と整合性を図りながら自己評価を行い、対応の方向性を整理し（Action）、令和8年度事業を構築（Plan）した。

復興へ向けた 重点プロジェクト	取組状況					主な課題と復興計画における対応の方向性		主な令和8年度事業	
	取組の方向性	主な指標				主な課題	対応の方向性		
		項目	基準値 (R2)	最新値 (R6)	目標値 (R6)	目標値 (R12)			
1 避難地域等復興加速化 プロジェクト	安心して暮らせる まちの復興・再生	避難解除区域の 居住人口 (単位:人)	63,700	65,074	増加を 目指す	増加を 目指す	避難解除区域では、生活関連施設が十分に整備されていないことにより帰還をためらう避難者が多く、帰還後に安心して生活ができる環境整備が必要である。	<p>継続 避難地域等医療復興事業（保福） 双葉地域における医療提供体制の中核的役割を担う新病院整備を進めるとともに、医療機関の再開・継続等の支援を行う。</p> <p>継続 原子力災害被災事業者事業再開等 支援事業（商労） 避難地域12市町村で被災した中小企業等に対して、事業再開等の費用の一部を補助することにより、事業等の再建に向けた取組を促進する。</p> <p>継続 地域復興実用化開発等促進事業（商労） 福島イノベーション・コスト構想の重点分野に位置付けられている6つの分野を軸として、技術開発・実用化の促進、販路開拓支援等を行う。</p>	
	産業・なりわいの 復興・再生	双葉郡の商工会 会員事業所の 事業再開状況 (単位:%)	74.0	89.0 (達成)	84.4	100	住民帰還の状況により、事業再開が遅れている地域があるほか、業種別においては卸売・小売業の事業再開が進んでいないため、地域や業種の実情に応じた支援が必要である。		
	魅力あふれる 地域の創造	浜通り地域等の 製造品出荷額等 (単位:億円)	15,201 (R元)	— (未達成 見込み) ※R4 15,654	16,453	18,527	福島イノベーション・コスト構想において重点分野に位置付けられている6つの分野を軸として、技術開発・実用化の促進、販路開拓支援等を行う。		
2 人・きずなづくり プロジェクト	日本一安心して子どもを生み、育てやすい環境づくり	保育所入所希望者に対する待機児童数の割合 (単位:%)	0.2 (R3)	0.05 (未達成)	0	0	保育所等の整備により待機児童は減少傾向にあるものの、今後も待機児童の解消に向けて、保育の受皿や保育人材の確保が求められる。	<p>継続 保育人材確保対策事業（こども） 潜在保育士の再就職に向けた相談対応や、保育求人情報の提供、就職斡旋等を行う保育士・保育所支援センターを設置・運営し、保育人材の確保を図る。</p> <p>継続 ふくしまっ子健康マネジメントプラン (教育) 専門家による運動習慣の形成、食習慣の指導を行うとともに、児童生徒自らが健康課題に取り組めるよう自己マネジメント力を育成するため自分手帳を活用した事業を実施する。</p> <p>一部新 避難地域への移住促進事業（避難） 避難地域12市町村への移住を促進するため、戦略的な情報発信、移住希望者の呼び込みや定着のための受入体制づくりに引き続き取り組むとともに、市町村等との連携を強化し、移住・定住を促進する。</p>	
	復興を担う心豊かな たましい人づくり	全国体力・運動能力 等調査結果の 全国平均との比較値 (全国=100) 小学5年 生、中学2年生 (単位:%) ※R2はコロナ禍により 調査中止	98.9(小5男子) 101.1(小5女子) 99.3(中2男子) 100.1(中2女子) (R元)	99.0(未達成) 101.0(未達成) 100.7(達成) 101.0(達成)	99.3 101.4 99.5 100.1	100.0以上 101.9以上 100.0以上 100.2以上	肥満傾向児出現率は全国平均を上回っているほか、運動習慣の二極化が見られるため、肥満や運動習慣のない児童・生徒に運動を習慣化が必要である。		
	ふくしまをつなぐ、 きずなづくり	移住者数 (単位:人)	2,832 (R4)	3,799 (達成)	3,214	4,500	都市部での地方移住への機運の高まりを受けて、移住希望者に対し、本県の魅力の発信や市町村等と連携した事業を積極的かつ戦略的に行っていく必要がある。		
3 安全・安心な暮らし プロジェクト	帰還に向けた取組・ 支援、避難者支援の 推進	避難者数 (単位:人)	33,365 (R3)	24,644	長期的に ゼロを目指す	長期的に ゼロを目指す	帰還促進に向けては、住まい、医療・福祉、買い物、就労などの生活環境の整備と、避難者の孤立防止や生活再建の支援が求められている。	<p>継続 ふるさとふくしま交流・相談支援事業 (避難) 県内外に避難を継続している県民に対して、避難者の生活再建や帰還に結び付けるため、相談対応や交流機会の提供などを実施する。</p> <p>継続 原子力安全監視対策事業（危機） 廃炉に向けた取組が安全かつ着実に進められるよう監視や意見の申し入れを行うとともに、原子力発電所の状況や県の監視の取組について、県民へ情報提供等を行う。</p> <p>継続 ふくしま復興再生道路整備事業（土木） 避難解除等区域の復興を周辺地域から支援するため、広域的な物流や地域医療、産業再生を支える8路線を整備する。</p>	
	環境回復に向けた 取組	日頃、放射線の影 響が気になると回 答した県民の割合 (単位:%)	29.1 (R3)	20.1 (達成)	29	29	福島第一・第二原発の廃炉作業は長期間にわたるため、原発周辺における放射性物質の影響を監視する十分な体制を維持するとともに、引き続き正確な情報発信を継続する必要がある。		
	復興を加速する まちづくり 他3件	ふくしま復興再生 道路8路線29工区 の整備完了率 (単位:%)	48	79 (未達成)	83	100	ふくしま復興再生道路の早期整備に向け、現場状況等による整備工程への遅れが出ないよう、工程管理の徹底が必要である。		
4 産業推進・なりわい再生 プロジェクト	中小企業等の振興	事業承継計画策定 件数 (単位:件)	62	280 (未達成)	287	337	事業承継に対する事業者の理解を進めるための取組や、事業承継先とのマッチング支援が求められている。	<p>継続 ふくしま事業承継等支援事業（商労） 県内中小企業・小規模事業者の事業承継等の課題に対し、県及び商工会等の関係機関が連携して支援を行うことにより、県内事業者の事業承継と今後の維持発展を図る。</p> <p>継続 農業でふくしまぐらし支援事業（農林） 新規就農者の更なる確保に向けて、首都圏での移住就農相談会の開催や移住就農者への住居等生活面の支援、雇用就農者の受け皿となる農業法人の労働環境等の改善などに取り組む。</p> <p>一部新 ホーリーリズム・運営・基盤整備事業 (観光) ホーリーリズムに関する総合窓口の運営と情報発信を行うとともに、ホーリーリズムの更なる深化・拡大に向け、一般観光客向け旅行商品造成支援等を実施し、広く誘客を図る。</p>	
	農林水産業の振興	新規就農者数 (単位:人)	204	322 (未達成)	370	400	担い手の減少と高齢化が進む中、本県の主要農業である農業の成長産業化に向け、多様な担い手を育成・確保するとともに、受け皿となる農業法人等の雇用を充実する必要がある。		
	観光業の振興 他1件	県内宿泊者数 (単位:千人泊)	9,536	9,540 (未達成)	12,300	14,500	安定的で継続的な観光需要の獲得が必要である。		